

食物アレルギー事故報告様式（誤食・誤接触）【記載例】 *水色枠内はブルダウから選択してください

事故報告日	令和2年	6月	2日	報告の経過	1週間以内に報告	
施設名称	〇〇保育園			設置者 (社名・法人名等)	〇〇法人〇〇会	
施設・事業種別	認可保育所			連絡先	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	
事故の概要	発生日時	令和2年6月9日	火	14:30	発生場所	4歳児クラス
	対象児童	4歳児クラス (4歳6か月)			性別	男
	医師の診断及び指示書に基づいた原因食物	卵・小麦・牛乳・乳製品 (アナフィラキシー)			アナフィラキシー既往歴	有
	誤食原因アレルゲン	牛乳・乳製品			誤食量 (又は触れた量)	2口
	当日の献立	朝のおやつ / 昼食 / 午後のおやつ			手作り 既製品	自園 ・ 外部搬入
	アレルギー対応献立	ごはん・スープ煮・果菜サラダ (変更なし)				
	食物アレルギー対応マニュアル	有		対応方法	完全除去	
緊急時薬	内服	預かり	有 → 使用 有	薬の種類	〇〇〇〇・エピペン	
		服薬指示	食べてしまった時、じんましんがある時に薬 (〇〇〇〇) を飲む			
	エピペン	預かり	有 → 使用 有	使用有の時→使用時間	12:11	
		投薬タイミングの指示	有	使用者	施設長・主任・担任	
	投薬指示	じんましんが全身にひろがったり、ゼーゼーしたらエピペンを打つ				
当日の体調	やや悪い					
発生時の具体的な経過と状況	時刻	症状の有無を含む児童の様子・保育の状況など				
	11:45	ホワイトシチューを2口食べたところで、口元のかゆみとじんましん・咳がでる				
	11:47	誤配膳した事に気づく				
	11:50	すぐに救急車と保護者に連絡し、緊急時薬のニボラジンとリンデロンシロップを飲せる				
	11:53	医師の指示にあてはまるため、エピペンの準備をする				
	12:11	児童の意識は、はっきりしていたがゼーゼーしはじめたため、エピペンを打った				
12:18	救急車到着 救急車、保育所から搬送される (保護者は直接、病院へ) 入院となる					
施設での処置・対応等	誤食判明後、すぐに対象児童の口腔内を確認し、うがいをさせ、口周囲洗い流した。緊急時薬を飲ませ、医師の指示のタイミングでエピペンを打つ エピペンを打った後も5分ごとの観察を行う					
	保護者の受け止め	・状況を理解いただいた ・その他 → (事故についての詳しい説明を求めている)				
受診医療機関	医療機関受診の有無	有	有の場合は以下全項目必要		受診時間	12:30
	受診した医療機関名	〇〇〇〇			診療科名	〇〇〇〇
	搬送方法	救急車 ・ タクシー ・ 徒歩 その他 ()				
	同行者	職員 (施設長・主任) 担任 ()			保護者 (続柄) ()	
	診断名	〇〇〇〇				
	通院/入院等状況	通院 ⇒ 1回のみ治療 ・ 継続的な治療 / 入院⇒退院日 令和2年6月10日				
備考						

考えられる事故原因

職員間で事故を振り返り、
どこに原因があったか、
要因を分析し確認、内容を記入

再発防止策

起こった原因に対しての
再発防止策を職員間で話し合い、
具体内容を確認し記入
(食事提供時だけではなく、保育体制等も考える)

備考